

品目別レポート（その他果物『ぶどう、もも、かき』）

■品目説明

〔ぶどう〕

「シャインマスカット」は脱粒しにくく、味もよく、種がなく皮ごと食べられるため、海外でも非常に評価が高い。

19年産ぶどうの国内収穫量は17万2,700トン（前年比1%減）、出荷量は16万500トン（1%減）であった。また、全国の結果樹面積は1万6,600haで、前年に比べ100ha（1%）減少した。また、都道府県別の収穫量割合は、山梨県が21%、長野県が18%、山形県及び岡山県がそれぞれ9%となっており、この4県で全国の約6割を占めている（農林水産省「作況調査（果樹）第1報」）。

ぶどうの小売り市場規模（2019年）は全世界で2,425万3,000トンとされており、地域別にみると、アジア大洋州1,036万2,000トン、中東・アフリカ649万2,000トン、西ヨーロッパ311万6,000トン、北米153万2,000トン、東ヨーロッパ130万5,000トン、ラテンアメリカ129万6,000トン、オーストラレーシア（注）14万9,000トンとなっている（ユーロモニター・インターナショナル調べ）。

注：オーストラレーシア：オーストラリア大陸・ニュージーランド北島・ニュージーランド南島・ニューギニア島およびその近海の諸島（インドネシアの領域を含む）を指す地域区分。

〔もも〕

白肉桃（果肉は柔らかく多汁）と黄肉桃（果肉は硬くゴム質）に大別され、白肉桃は主として生食用に、黄肉桃は加工用に栽培される。日本のもも（主に白肉桃）に味で競合できる他国産がなく、東南アジア諸国の国際都市に所在する日系百貨店では、贈答用の詰め合わせが店頭で即売となる程の需要がある。

19年産ももの国内収穫量は10万7,900トン（前年産比5%減）、出荷量は9万9,500トン（同5%減）であった。また、全国の結果樹面積は9,540haで、1.5%減となった。また、都道府県別の収穫量割合は、山梨県が30%、長野県が15%、和歌山県が11%となっており、この3県で全国の約6割を占めている（農林水産省「作況調査（果樹）第1報」）。

もも／ネクタリンの小売り市場規模（2019年）は全世界で1,487万3,000トンとされており、地域別にみると、アジア大洋州969万トン、西ヨーロッパ218万3,000トン、中東・アフリカ104万4,000トン、ラテンアメリカ76万9,000トン、北米59万3,000トン、東ヨーロッパ52万1,000トン、オーストラレーシア7万4,000トンとなっている（ユーロモニター・インターナショナル調べ）。

〔かき〕

かきの輸出品種は、富有が主体であるが、最近は渋がきの平核無の渋抜きをしたものも輸出されている。

19年産かきの国内収穫量は20万8,200トン（前年並）、出荷量は17万5,300トン（同2%増）であった。また、全国の結果樹面積は1万8,900haで、前年に比べ200ha（1%）増加した。また都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が21%、奈良県が15%、福岡県が8%、岐阜県が7%、愛知県が5%となっており、この5県で全国の約6割を占めている（農林水産省「作況調査（果樹）第1報」）。

■貿易概況

〔ぶどう〕

▼表1：日本のぶどう輸出

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	15,200,952	716	17,038,591	819	15,302,425	717	△ 10.2	△ 12.5
台湾	9,641,580	556	9,951,258	582	10,999,022	540	10.5	△ 7.2
タイ	317,684	14	617,446	23	1,355,261	46	119.5	100.0
シンガポール	774,568	35	1,078,887	49	1,314,854	59	21.9	20.4
マカオ	287,329	12	261,567	10	298,826	10	14.2	0.0
全世界	26,395,605	1,339	29,241,854	1,492	29,606,154	1,385	1.2	△ 7.2

注：対象はHSコード 0806.10

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年のぶどうの輸出額は前年比1.2%増の2,960万ドル、輸出量が同7.2%減の1,385トンであった（表1）。主要輸出相手国・地域は香港と台湾で、輸出額全体に占めるシェアは香港が51.6%、台湾が37.1%である。輸出額全体の88.8%がこの2地域に輸出されている。

〔もも〕

19年のももの輸出額は前年比10.3%増の1,765万ドル、輸出量が同3.1%増の1,780トンであった（表2）。主要輸出相手国・地域は香港と台湾で、輸出額全体に占めるシェアは香港が71.5%、台湾が22.5%である。輸出額全体の94.0%がこの2地域に輸出されている。

▼表2：日本のもも（ネクタリン含む）輸出

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	10,835,470	1,338	12,625,591	1,402	12,631,027	1,286	0.0	△ 8.3
台湾	3,037,690	297	2,653,098	243	3,977,258	364	49.9	49.8
シンガポール	191,000	16	400,194	36	481,776	50	20.4	38.9
タイ	210,998	33	199,952	26	381,690	53	90.9	103.8
マレーシア	137,893	21	72,861	13	111,214	18	52.6	38.5
全世界	14,475,277	1,710	16,010,225	1,726	17,652,897	1,780	10.3	3.1

注：対象はHSコード 0809.30

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

[かき]

19年のかきの輸出額は前年比 21.8%増の 425 万ドル、輸出量は同 19.5%増の 829 トンであった(表 3)。主要輸出相手国・地域はタイと香港で、輸出額全体に占めるシェアはタイが 62.7%、香港が 30.8%である。輸出額全体の 93.5%がこの 2 カ国・地域に輸出されている。

▼表3：日本のかき輸出

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
タイ	1,782,481	367	2,049,646	383	2,669,122	494	30.2	29.0
香港	1,108,216	238	1,251,072	263	1,313,304	273	5.0	3.8
シンガポール	6,337	1	61,729	14	111,348	28	80.4	100.0
台湾	53,498	12	34,795	8	76,414	16	119.6	100.0
マレーシア	36,101	10	35,507	9	59,879	14	68.6	55.6
全世界	3,026,834	640	3,493,640	694	4,255,606	829	21.8	19.5

注：対象はHSコード 0810.70

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

■海外事情

●香港

[ぶどう]

19年のぶどうの輸入をみると、金額は前年比 5.1%増の 5 億 2,212 万ドル、数量は同 1.0%増の 24 万 403 トンであった(表 4)。主要輸入相手国の動向をみると、1位のチリは金額が 1 億 7,710 万ドル(前年比 9.9%減)、数量が 9 万 8,395 トン(同 8.3%減)と前年から減少した。2位のオーストラリアは金額が 1 億 2,989 万ドル(同 32.2%増)、数量が 5 万 4,139 トン(同 21.9%増)、3位のペルーは金額が 9,269 万ドル(同 43.1%増)、数量が 4 万 8,259 トン(同 37.7%増)となった。

▼表4：香港のぶどう輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
チリ	149,973,877	83,140	196,588,220	107,258	177,105,227	98,395	△ 9.9	△ 8.3
オーストラリア	114,787,754	51,642	98,266,080	44,411	129,895,893	54,139	32.2	21.9
ペルー	76,458,189	41,055	64,762,133	35,056	92,692,516	48,259	43.1	37.7
南アフリカ	49,645,505	23,542	33,295,639	14,858	37,538,529	15,694	12.7	5.6
米国	68,620,685	28,711	55,329,483	23,651	31,389,548	11,105	△ 43.3	△ 53.0
日本 (7位)	15,340,710	765	15,853,984	855	16,407,590	853	3.5	△ 0.2
全世界	493,833,718	236,729	496,917,973	237,920	522,120,599	240,403	5.1	1.0

注：対象はHSコード 0806.10

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

日本産ぶどうは高価格であるが、大粒で糖度が高い巨峰やピオーネがこれまでも香港市場で人気があり、近年は、皮ごと食べられ、甘さとフレッシュな香りを備えたシャインマスカットの人気が高まっている。ただし、16年頃から、韓国産の同品種も流通するようになり、今後注視が必要である。

2019年11月～2020年2月にかけてジェトロが行った現地市場価格調査によれば、現地富裕層向け店舗にて長野県産シャインマスカット1房が298香港ドル(約4,276円)、韓国産シャインマスカットが1房138香港ドル(約1,980円)、現地系ローワーミドル向け店舗における台湾産巨峰1房(500g)が42.90香港ドル(約615円)であった。

【もも】

▼表5：香港のもも（ネクタリン含む）輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
チリ	12,452,429	8,072	29,310,720	16,714	40,556,047	20,528	38.4	22.8
日本	13,967,315	1,377	16,059,079	1,686	16,026,457	1,614	△ 0.2	△ 4.3
オーストラリア	9,773,027	3,574	9,758,204	3,761	10,716,650	4,200	9.8	11.7
米国	2,450,691	580	2,617,659	677	1,733,145	409	△ 33.8	△ 39.6
韓国	1,188,103	233	1,357,796	275	1,283,942	256	△ 5.4	△ 6.9
全世界	43,624,979	15,383	62,483,932	24,499	73,221,218	28,112	17.2	14.7

注：対象はHSコード 0809.30

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年のもも(ネクタリン含む)の輸入をみると、金額は前年比17.2%増の7,322万ドル、数量は同14.7%増の2万8,112トンであった(表5)。主要輸入相手国の動向をみると、1位のチリは金額が4,055万ドル(前年

比 38.4%増)、数量が 20,528 トンと前年からさらに大きく金額を伸ばした。2 位の日本は金額が 1,602 万ドル (同 0.2%減)、数量が 1,614 トン (同 4.3%減) であった。なお、3 位のオーストラリアは金額が 1,071 万ドル (同 9.8%増)、数量が 4,200 トン (同 11.7%増) となった。

香港では、縁起が良いと連想される黄金色のゴールデンピーチが人気であるが、日本産の白桃も人気が出てきている。日本産は他国産に比べ、外観が良く、糖度が高く、大玉であることなどから人気があり、近年は日系スーパーマーケットのほか、果物卸売市場や公設市場での小売店、比較的高級なローカルスーパーマーケットでも販売されるようになってきている。

2019 年 11 月～2020 年 2 月にかけてジェトロが行った現地市場価格調査によれば、現地系富裕層向け店舗で、岡山県産「清水白桃」L サイズ 1 個が 108 香港ドル (約 1,549 円)、現地系ローワーミドル向け店舗にて南アフリカ産黄桃 S サイズ 1 箱 (720g) が 26.9 香港ドル (約 386 円)、オーストラリア産白桃 S サイズ 1 箱 (500g) が 21.9 香港ドル (約 314 円) であった。

[かき]

▼表6：香港のかき輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
スペイン	5,494,975	2,461	2,551,392	1,150	3,236,575	1,768	26.9	53.7
日本	1,566,570	224	1,861,959	270	2,350,370	352	26.2	30.4
ニュージーランド	470,802	93	436,385	84	478,797	85	9.7	1.2
韓国	947,844	828	397,924	297	405,163	316	1.8	6.4
中国	636,988	435	695,598	597	252,526	244	△ 63.7	△ 59.1
全世界	9,657,830	4,290	6,248,095	2,491	6,887,250	2,819	10.2	13.2

注：対象はHSコード 0810.70

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19 年のかきの輸入をみると、金額は前年比 10.2%増の 688 万ドル、数量は同 13.2%増の 2,819 トンであった(表 9)。主要輸入相手国の 1 位はスペインで金額が 323 万ドル(前年比 26.9%増)、数量が 1,768 トン (同 53.7%増)、2 位の日本は金額が 235 万ドル(同 26.2%増)、数量が 352 トン(同 30.4%増)、3 位のニュージーランドは金額が 47 万ドル(同 9.7%増)、数量が 85 トン(同 1.2%増)となった。

2019 年 11 月～2020 年 2 月にかけてジェトロが行った現地市場価格調査によれば、現地系富裕層向け店舗で、日本産『富裕柿』が 2 個で 39.90 香港ドル (約 572 円)、三重県産『多気次郎』が 1 個 20 香港ドル (約 287 円) であった。

●台湾
[ぶどう]

▼表7：台湾のぶどう輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	34,051,067	13,280	40,455,213	15,382	38,459,237	16,240	△ 4.9	5.6
チリ	13,315,078	6,127	10,543,615	4,502	8,259,691	3,828	△ 21.7	△ 15.0
日本	6,723,795	561	7,495,220	584	6,968,400	541	△ 7.0	△ 7.4
ペルー	6,665,942	3,098	5,617,922	2,430	5,822,681	2,982	3.6	22.7
オーストラリア	2,737,337	1,290	3,000,460	1,352	2,738,363	1,584	△ 8.7	17.2
全世界	70,893,003	27,859	70,802,367	25,915	65,026,010	26,698	△ 8.2	3.0

注：対象はHSコード 0806.10

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年のぶどうの輸入をみると、金額は前年比8.2%減の6,502万ドル、数量は同3.0%増の2万6,698トンであった(表7)。主要輸入相手国の動向をみると、1位の米国は金額が3,845万ドル(前年比4.9%減)、数量が1万6,240トン(同5.6%増)、2位のチリは金額が825万ドル(同21.7%減)、数量が3,828トン(同15.0%減)と前年から減少した。3位の日本は金額が698万ドル(同7.0%減)、数量が541トン(同7.4%減)となった。

2019年11月～2020年2月にかけてジェトロが行った現地市場価格調査によれば、日系アップーミドル向け店舗にて長野県産シャインマスカット1房(700g)が1,080台湾ドル(約3,925円)、外資系ローワーミドル向け店舗で米国产「RED SEEDLESS GRAPE」100gが22台湾ドル(約79円)、台湾産巨峰450gが89台湾ドル(約323円)であった。

[もも]

▼表8：台湾のもも(ネクタリン含む)輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	34,286,657	9,720	37,735,614	10,856	33,471,849	11,444	△ 11.3	5.4
チリ	11,699,861	5,761	7,046,579	3,650	4,909,938	2,914	△ 30.3	△ 20.2
日本	3,313,734	301	2,697,697	245	3,948,566	355	46.4	44.9
オーストラリア	57,882	19	190,719	81	155,939	84	△ 18.2	3.7
ニュージーランド	10,464	2	83,098	18	37,096	10	△ 55.4	△ 44.4
全世界	49,368,598	15,803	47,753,707	14,849	42,523,388	14,807	△ 11.0	△ 0.3

注：対象はHSコード 0809.30

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年のもも(ネクタリン)の輸入をみると、金額は前年比11.0%減の4,252万ドル、数量は同0.3%減の1万4,807トンであった(表8)。主要輸入相手国の動向をみると、1位の米国は金額が3,347万ドル(前年比11.3%減)、数量が1万1,444トン(同5.4%増)だった。2位のチリは金額が490万ドル(同30.3%減)、数量が2,914トン(同20.2%減)、3位の日本は金額が394万ドル(同46.4%増)、数量が355トン(同44.9%増)となった。

●タイ

▼表9：タイのかき輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	8,263,998	13,918	5,555,189	9,668	10,707,388	18,825	92.7	94.7
日本	1,453,895	312	2,456,382	411	2,518,662	411	2.5	0.0
ニュージーランド	1,683,667	306	1,296,484	236	1,500,932	276	15.8	16.9
韓国	450,552	497	179,359	216	225,758	275	25.9	27.3
ケニア			60	0			△100.0	-
全世界	11,852,112	15,032	9,487,474	10,532	14,952,741	19,788	57.6	87.9

注：対象はHSコード 0810.70

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年のかきの輸入をみると、金額は前年比57.6%増の1,495万ドル、数量は同87.9%増の19,788トンであった(表6)。主要輸入相手国の動向をみると、1位の中国は金額が1,070万ドル(前年比92.7%増)、数量が18,825トン(同94.7%増)、2位の日本は金額が251万ドル(同2.5%増)、数量が411トン(同0.0%増)で、3位のニュージーランドは金額が150万ドル(同15.8%増)、数量が276トン(同16.9%増)であった。

2019年11月～2020年2月にかけてジェトロが行った現地市場価格調査によれば、現地系アップーミドル向け店舗で、岐阜県産「富裕柿」が1個198バーツ(約712円)、三重県産「多気次郎」が1個128バーツ(約460円)などであった。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。